

研究課題名「多施設共同レジストリによる脊髄性筋萎縮症成人例の長期フォローアップ研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

過去に当院での受診歴がある脊髄性筋萎縮症の成人患者さん（同意取得日において18歳以上の患者さん）

2. 研究目的・方法・研究期間

脊髄性筋萎縮症（以下SMA）は、主にSMNと呼ばれるタンパク質の欠乏によって脊髄や脳の一部の運動神経に病変をきたし、体幹や手足の筋萎縮と筋力低下が進行する遺伝性疾患です。SMAは小児期までに発症することが多い疾患ですが、思春期や成人期に発症するケースもあります。

SMAには長らく有効な治療薬がありませんでした。しかし2017年7月、乳児型SMAの治療薬としてヌシネルセン（スピニラザ[®]髓注12mg）が承認され、その後、乳児型以外のSMAについても承認されました。そのため、ヌシネルセンは現在SMA治療薬として広く用いられています。さらに、2020年3月にはオナセムノゲンアベパルボベク（ゾルゲンスマ[®]点滴静注）が2歳未満のSMAを対象として、2021年6月にはリスジプラム（エブリスディ[®]ドライシロップ）が2ヵ月齢以上のSMAを対象として承認され、用いられています。しかし、それらの基になったデータは、乳幼児や小児の患者さんを対象に実施された治験（医薬品の承認を目的とした試験）などの結果から得られたものであり、成人患者さんでの治療有効性や疾患の自然経過については、いまだ十分に明らかになっていません。

そこで本研究では、成人のSMA患者さんにご協力いただき、これまでの受診期間に得られた診療情報及び今後60ヵ月間、診療情報を収集・解析することにより、SMAのさらなる理解と、より良い治療へつなげることを目指します。

本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて研究を実施されます。

研究実施期間：研究機関の長の実施許可日～2027年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、初診時以降の診療情報から主に以下のようないわゆる情報を収集します。

- ・本研究登録時の年齢あるいは生年月日、性別、生存状況
- ・SMN遺伝子に関する検査情報
- ・臨床所見（発症年齢、SMA分類、側弯症の有無等）

- ・運動機能に関する情報
- ・車椅子、経管栄養、人工換気の使用状況
- ・SMA の治療薬の投与状況
- ・入院歴及び併存疾患の有無
- ・治験及び臨床研究への参加歴
- ・運動能力の測定結果
- ・検査結果（放射線画像検査、生理検査、血液検査）
- ・症状アンケート
- ・リハビリの実施状況

4. 外部への試料・情報の提供

本研究では、研究参加施設で取得された診療情報はインターネット上の電子症例報告書(EDCといいます)に入力され、QOL・疲労感に関する回答は各質問票用紙へ記入いただきます。これらの情報は、研究代表施設である名古屋大学医学部附属病院に提供されます。なお、EDCには厳重なセキュリティ対策が施されており、各質問票用紙は、名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学教室の施錠された保管庫内で厳重に管理されるため、特定の関係者以外の者がアクセスすることはできません。情報の提供に当たっては、患者さんの個人情報は無関係の登録番号で置き換えて管理されるため、個人情報が提供されることはありません。必要に応じて患者さん個人を識別するための「一覧表」が作成されますが、「一覧表」については研究参加施設の責任者によって厳重に保管され、施設外には提供されません。

もしも、本研究への診療情報の提供をご了承いただけない場合には、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。その場合でも、患者さんに何らかの不利益が発生することはありません。

5. 研究資金・利益相反

本研究は、研究代表者がバイオジェン・ジャパン株式会社及び中外製薬株式会社より資金提供を受け、両社との共同研究として実施しています。研究代表者は、バイオジェン・ジャパン株式会社及び中外製薬株式会社から講演等の謝金を受けていますが、両社は解析・評価には介入することなく、複数の共同研究機関も含めて実施されること、また、メリックス株式会社によるモニタリングも実施されることから、恣意的に両社に有利な研究結果へ導かれることはない体制となっています。また、資金提供者であるバイオジェン・ジャパン株式会社及び中外製薬株式会社は、安全性に関する情報を研究代表者に提供する他に、本研究の実施ならびに公表にも提言を行います。しかし、本研究の計画、実施ならびに公表に関する意思決定は、本研究の研究代表者とバイオジェン・ジャパン株式会社及び中外製薬株式会社の間の適切な協議により行われ、意図的にいずれかの研究者の都合の良い結果に導くことはありません。なお、研究開始にあたり、名古屋大学医学部附属病院の研究代表者および

研究分担者、また研究参加施設の研究責任者等はそれぞれが関連する企業との利益相反関係について自己申告を行っています。京都大学においては「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において利益相反について適切に審査しています。

6. 研究組織

研究代表者 :

名古屋大学医学部附属病院

勝野 雅央

京都大学における研究責任者/情報管理責任者 :

京都大学医学部附属病院 綾木 孝

共同研究機関・責任者（バイオジェン・ジャパン株式会社及び中外製薬株式会社以外は五十音順）：

鹿児島大学病院	高嶋 博
神戸大学医学部附属病院	関口 兼司
公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	上田 直久
公立大学法人横浜市立大学附属病院	田中 章景
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	高橋 祐二
東京科学大学病院	三澤 園子
筑波大学附属病院	斎木 臣二
東京大学医学部附属病院	成瀬 紘也
東北大学病院	青木 正志
独立行政法人国立病院機構大阪刀根山医療センター	齊藤 利雄
独立行政法人国立病院機構沖縄病院	橋口 昭大
独立行政法人国立病院機構下志津病院	三方 崇嗣
独立行政法人国立病院機構仙台西多賀病院	高橋 俊明
独立行政法人国立病院機構新潟病院	中島 孝
独立行政法人国立病院機構北海道医療センター	石川 悠加
鳥取大学医学部附属病院	村上 丈伸
山梨大学医学部附属病院	羽田 貴礼
バイオジェン・ジャパン株式会社	傳 幸諭
中外製薬株式会社	—

ただし、共同研究機関や責任者が追加される可能性があります。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○本研究課題の相談窓口/責任者

京都大学医学部附属病院

脳神経内科 綾木 孝

(電話 : 075-751-3111)

○京都大学の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(電話 : 075-751-4748、E-mail : ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp)